



おいしい給食ができますように
小学生と園児がケールの収穫体験

南方の畑で北吉井小学校のさくら学級の児童と東谷幼稚園児、北吉井幼稚園児がケールの収穫体験を行いました。

遠赤青汁(株)の畑で大きく育ったケールを子どもたちは「重い」「手伝って」と言いながらみんなで協力して収穫しました。

収穫後は給食センターの調理員に「おいしい給食を作ってね」と収穫したケールを手渡しました。

親子でふれあう1時間
ねこじゃらコンサート開催

アートヴィレッジフェスティバルの市民提案の1つ「ねこじゃらコンサート」が市内こども館3館で開催されました。

さくらこども館で行われたコンサートでは多くの親子連れが参加しました。にゃんころずが舞台上に登場すると、おはなしや歌、ダンスなどをして会場を盛り上げました。子どもたちは一緒に歌ったり踊ったりして楽しく過ごしました。



全国の強豪チームが集う
ソフトボールフェスティバル

2月10日～12日にソフトボールフェスティバル(主催:実行委員会)が市内各地で開催され、高校生18チーム、中学生10チームが参加し熱戦を繰り広げました。本大会は全国から強豪チームが集う

大会で、レベルの高い試合を通じてお互いのレベルアップを図りました。

高校生の部決勝は、東温高校と松山工業高校の同県対決となり、1対3で松山工業高校が優勝を果たしました。



日頃の練習の成果を発揮
東温高校マラソン大会

2月2日、総合公園で開催され、女子は4km、男子は6kmを走りました。スタート前には、円陣を組んで気合いを入れたり、友人と励まし合う姿が見られました。スタートの合図とともに生徒は駆け出し、公園内のコースを周回しました。レースは最後まで優勝が分からないデッドヒートを繰り広げるなど充実した大会となりました。



鬼はそと、福はうち
いわがらこども館で豆まき

2月2日、いわがらこども館で豆まき大会が開催されました。子どもたちは節分に合わせ、鬼の衣装に身を包んで豆まきを楽しみました。

イベントでは親子でシールを貼ったり、花紙を丸めたりしてオリジナルの衣装を作りました。

こども館に鬼が登場すると、泣いてしまう子どもも。子どもたちは紙を丸めて作った豆を投げ、節分の文化に親しみました。

砂糖はどうやってできる？
小学生がさとうきび絞りを体験

南吉井小学校の3年生がさとうきび絞りを体験しました。始めの学習で、さとうきびからさまざまな砂糖ができることを知った子どもたちは驚いた表情を見せていました。

今回の体験は、遠赤青汁(株)の協力の下開催されました。子どもたちはさとうきびが絞られる様子をじっくりと眺めながら体験を楽しみました。

絞った蜜は後日給食で提供される予定です。





人命救助に貢献
消防感謝状贈呈式

ツインドーム重信トレーニングルーム利用者の人命救助に大きく貢献した指定管理者 芙蓉メンテナンス(株)の職員2人に加藤市長から感謝状が授与されました。二神所長は、「年2回行う救命訓練のおかげで冷静に対応できました。改めて日頃の訓練の大切さを認識しました。皆さんも機会があればぜひ講習を受けていただきたい」とAEDを使った蘇生処置の重要性を話しました。

ねんりんピック種目を学校で
東温高校生がゲートボール

東温高校のスポーツ健康類型の授業でゲートボールが行われました。ゲートボールは昨年10月末に行われたねんりんピックの市内開催競技です。授業には愛媛県ゲートボール連合の皆さんも参加し、高校生を指導しました。
この日は3年生の最後の通常授業日とあって2年生と白熱した戦いを繰り広げ、笑顔が溢れる1時間となりました。



4年振りの禪りレー
第14回東温市駅伝大会

1月21日、見奈良大橋～新横河原橋の周回コースにて、市スポーツ協会とスポーツ少年団の主催による駅伝大会が開催され、48チーム 356人が参加しました。4年振りの開催に、駅伝を心待ちにした選手や観客の歓声が響き渡り、笑顔が溢れました。



各部門優勝チーム

- 1_ 小学生男子 重信キッカーズ
- 2_ 中学生男子 重信中学校サッカー部
- 3_ 中学生女子 重信中学校陸上部 B
- 4_ 高校生男子 東温高校サッカー部 A
- 5_ 高校生女子 東温高校陸上競技部
- 6_ 一般 (ロング) 石井体協



大切なおもちゃを修理
キッズおもちゃ病院

いagaraこども館でキッズおもちゃ病院が開催されました。動作不良や音が出ないなどのおもちゃの修理依頼を受けたおもちゃドクターが、基板の修理作業をはんだごてを使って修理します。おもちゃドクターの武本敦司さんは、「修理したおもちゃが動き出すと子どもたちの表情が明るくなるのが良いです」と、やりがいを教えてくれました。次回はさくらこども館で、3月3日に開催されます。

私たちの行動で世界を変えよう！
消費生活出前授業

武田消費生活相談員が重信中学校で食品ロスやSDGsについて授業を行いました。「持続可能な世界に向けて私たちができることは何だろうか？」をテーマに、消費期限と地産地消を意識した買い物や日本のSDGsの達成状況について学びました。
中学生からは「大量の食品ロスや日本のSDGsで未達成の項目が多くあることを知ったので、日常生活から気をつけたいです」と話しました。



アイドルと一緒に仕事について考える
ジュニア体験塾

ジュニア体験塾(主催:生涯学習課)で、愛媛県出身のアイドル塩見きらさんを講師に迎え、話を聞いたり動画撮影を行いました。グループワークでは「なりたい自分になるにはどうしたらいいか」をテーマに将来の仕事について、一緒に考えました。参加した中学生は、「アイドルの仕事は大変だけど、夢に向かって頑張る姿はかっこいいと思いました」と笑顔を見せました。



安全で安心な明るい社会を築くために

愛媛県保護観察協会理事長表彰

重信中学校 2年生の阿多聡子さんの作文「私の知らないところで」が、第73回“社会を明るくする運動”作文コンテストで受賞し、東温市社会を明るくする運動推進委員会副委員長の森政明さんから表彰状を受け取りました。阿多さんは、「自分や友人が何かのきっかけで非行に走る可能性を学びました。作文を通して発信できたこと、さらに受賞できたことが嬉しいです」と話しました。



災害時の対応を想定

重信川流域大規模土砂災害対応訓練

1月30日、中央公民館にて、国、県、市の防災部局及び四国山地砂防ボランティア協会が参加し、訓練を行いました。この訓練は、市内で天然ダムや土石流等の土砂災害が発生した場合に、それぞれの役割や関係機関との連携対応について確認を行い、地域防災力の向上を図ることを目的として実施しました。今後も引き続き、災害に強い安全・安心のまちづくりを目指します。



本格的な舞台で日頃の成果を披露

東温フェスティバル

東温高校の文化芸術発表会「東温フェスティバル」が坊っちゃん劇場で行われました。当日は書道や演劇、吹奏楽やダンスなどがステージで披露され、ロビーにも作品が飾られました。

今年は重信中学校の生徒が吹奏楽を披露したり、中学生と高校生の演劇部がコラボレーションした作品が披露されました。作品を通して中学生と高校生が仲睦まじく話す様子も見られました。



ふるさと上林を満喫

上林小学校で学芸会

上林小学校で学芸会が開催され、合唱や劇などを披露しました。上林をテーマにして作られた劇を見た地域の方は笑顔を見せていました。劇を披露した6年生は「6年間で一番できがよかったです。残り少ない小学校生活を大事にしたいです」と話しました。

城山天満神社神楽保存会の皆さんの里神楽の披露や体験もあり、子どもたちの笑顔が輝きました。



被災地のために尽力

令和6年能登半島地震災害派遣

1月29日から10日間、職員3人が派遣され、避難所運営支援に携わりました。2月14日に活動報告会があり、被災地状況や避難所の様子について説明がありました。危機管理課の徳野主事は、「昼間は明るく振る舞っていても、夜には手を合わせて泣く現地職員の姿を見かけ、心の傷は大きく計り知れないと思いました。今回の体験を防災訓練等に活かしていきます」と話しました。

